

# 教育学校「庄内さくら学園」が開校

## 第六・第十中学校が統合～



大アリーナ



プール

### ② 1年から9年の子どもたちの育ちと学びをつなぐ

義務教育9年間を見通した一貫性のある指導ができる強みを生かし、子ども一人一人の課題に応じた指導を行います。

### ③ 独自カリキュラム (SDG プログラム) で未来を切り拓く力を育む

「庄内・大好き・元気」の頭文字をとった<sup>エスディージー</sup>SDGプログラムで、子どもたちが自分を見つめ、仲間とともにさまざまな体験学習を通して、自らの生き方を考え、未来を切り拓<sup>ひら</sup>こうとする意欲や姿勢を育みます。

- SDG1** さまざまな音楽体験や演劇教育を取り入れ、お互いを理解し合うコミュニケーション力を育みながら、子どもたちの自己肯定感を高めます。
- SDG2** 地域の人々との出合いやつながりを通して、地域への愛着や誇りを育み、誰もが住みやすい地域社会づくりを学びます。
- SDG3** キャリア教育を充実させ、子どもたちが、働くことや子育てについて学び、誰もが共生できる社会の担い手となるよう自立を支援します。

### ④ さくらコミュニティ・スクールで地域とつながる

地域や保護者が、「子どもたちの応援団 (庄内さくら学園応援団)」として参画するコミュニティ・スクールを組織し、「地域とともにある学校」をめざします。

# 本市初の施設一体型小中一貫の義務

## ～庄内・野田・島田小学校と



### 教育目標

自ら考え、行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる子どもを育てる



### 校名

「地域とともにある学校」として地域への愛着や誇りを表現するため「庄内」を使い、また、誰からも広く愛される学校になってほしいという願いを込めて、旧小学校の校章に使われていた「桜」を使っています。



### 校章

子どもたちからデザインのアイデアを募集しました。5枚の花びらは、1つになる5校を表し、上に向かって伸びる葉は、義務教育9年間での子どもたちの成長を表現しています。



### 庄内さくら学園の特色

#### ① 4-3-2の3ステージ制で3つの力(つながる力・まなぶ力・つくる力)を段階的に育む

子どもの発達段階に合わせて、学年段階を4年、3年、2年の3ステージに区切り、指導区分ごとに身に付けたい力や具体的な目標などを設定し、きめ細やかな指導を行います。

指導区分	第1ステージ				第2ステージ			第3ステージ	
学習指導	学級担任を中心とした指導				教科担任制の導入			進路を見据えた学習指導の充実	
生徒指導	良い習慣の形成・確立				自立した生活			主体的な生活・生徒自治	
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
教育課程	小学校の学習指導要領を準用【前期課程】						中学校の学習指導要領を準用【後期課程】		

義務教育9年間を見通した系統的で一貫性のある学習指導・生徒指導



# 令和5年度(2023) 予算が決定

令和5年度予算が市議会3月定例会(2月24日～3月22日)で可決されました。  
3つの柱を中心に予算編成しています。

## 当初予算総額

# 3,299億6,698万2千円

(前年度比 4.0%増)

## うち一般会計

# 1,738億9,298万3千円

(前年度比 2.1%増)

パソコンやスマートフォンなどから市の予算や決算情報を  
グラフなどで見ることができます。

デジタル予算書はこちら



今年度は新型コロナウイルス感染症を乗り越えた未来の豊中に向かって、市民や事業者の皆さんとともに力強く踏み出す時です。今年度予算は、柔軟な発想と行動力、都市経営の視点を持って、3つの重点項目を柱に据え、取り組みを進めます。

1つめは、「子どもたちの笑顔あふれる未来のために」です。

小中一貫教育の推進や学習環境の充実など、子どもたちが夢や希望をもって、元気に学び、成長できる環境を整えます。また、生まれる前からの子育て支援など、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

2つめは、「コロナを乗り越え、元気いっぱいの豊中へ」です。

新型コロナウイルス感染症に起因する認知機能低下への対応のほか、コロナ後の社会を見据えた活力ある拠点整備や地域経済の活性化に取り組みます。

3つめは、「暮らしを便利に快適に」です。

デジタル・ガバメントのさらなる推進など、暮らしのあらゆる場面における利便性・快適性の向上に取り組みます。また、民間企業や他の自治体と連携しながら、地域課題の解決や市民サービスのさらなる向上に取り組みます。

さまざまな課題に対し、新たな発想で、スピード感を持って果敢にチャレンジしていきます。

## 施政方針



施政方針演説を行う  
長内繁樹市長

## 1. 子どもたちの笑顔あふれる未来のために

●第2子の0～2歳児保育料の無償化  
※関連記事8ページ 4億6,368万4千円

●妊産婦や子ども・家庭をサポートする  
「はぐくみセンター」を設置  
※関連記事6ページ 1億9,489万2千円



●妊婦健康診査補助の拡充  
14回から16回に 1,600万円

●本市初となる義務教育学校  
「庄内さくら学園」の開校 6,303万6千円  
※関連記事2・3ページ

●(仮称)南校の開校に向けた取り組み  
令和8年4月開校 22億2,494万円

●別室登校支援員が不登校児童・生徒を  
サポート 2,115万5千円

●公共施設のこども料金を無償化  
体育施設の無償範囲を小学生まで拡大  
※関連記事8ページ 815万7千円

## 2. コロナを乗り越え、元気いっぱいの豊中へ

●千里川土手と一体になった  
飛行機に見える公園の整備  
5,067万9千円

●東西軸エリアを活性化 265万8千円

●スタートアップ企業の支援 200万円

●「HEMSとよなか」  
(緊急時医療スタッフ登録制度)の創設  
195万円

●マチカネポイントアプリの機能を充実  
3億463万5千円



●働く世代への認知症予防 992万8千円

## 3. 暮らしを便利に快適に

●図書館を地域活動の拠点へ  
一時保育の実施や自習室・サービスポイントの  
設置など  
1億8,340万8千円

●デジタル予算書の導入 277万2千円

●出張所でオンライン相談を実施  
88万7千円

●総合コールセンターの強化  
緊急時における自動音声応答システムや市ホーム  
ページへチャットボット機能を導入  
6,669万9千円

●デジタルハザードマップを活用した  
マイタイムライン作成支援ツールの開発  
616万円

# 組織機構を再編

社会環境の変化や新たな行政課題を踏まえ、戦略的に政策を推進するため、4月1日(土)から組織を再編します。主な内容は次のとおりです。

☎ 行政総務課 ☎ 6858-2047



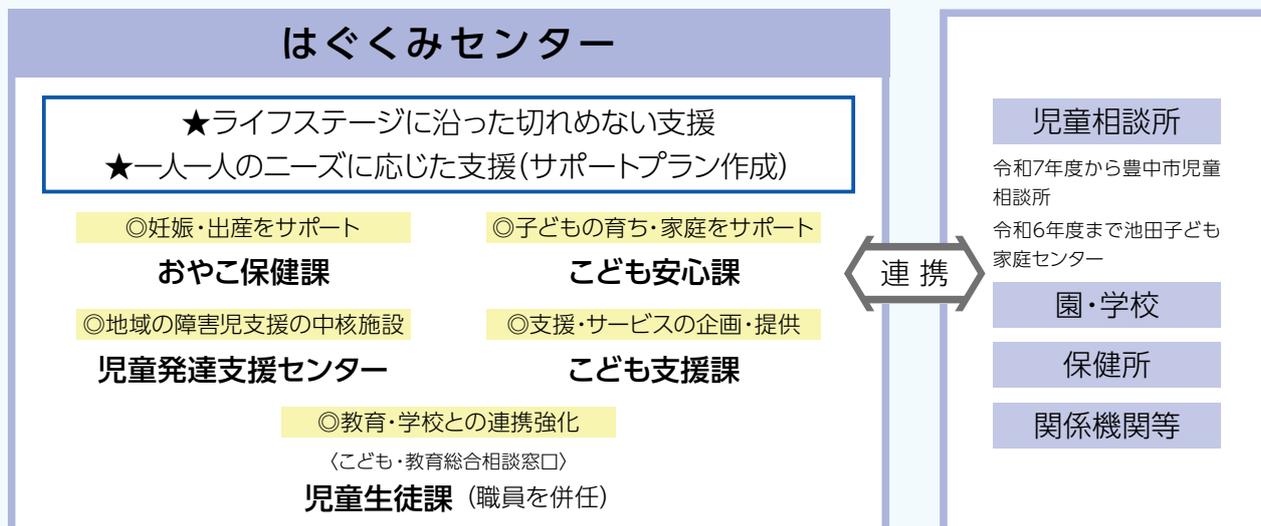
## 子どもたちの笑顔あふれる未来のために

### ◎こども家庭支援監を配置

全ての妊産婦、子どもとその家庭を対象に、必要な支援を切れめなく包括的に行う司令塔として、こども未来部に『こども家庭支援監(部長級)』を新たに配置します。

### ◎『はぐくみセンター』を新設

改正児童福祉法に規定する「こども家庭センター」として、法施行に先立ち、府内で初めて設置します。全ての妊産婦、子どもとその家庭に対し、改正法で定める児童福祉と母子保健だけでなく、学校教育も一体となって、より確実に支援を届けます。



## 業務の移管

業務	新しい所管課	これまでの所管課
こども総合相談窓口・子育て短期支援事業など	こども支援課(すこやかプラザ) ☎6852-5172	こども相談課
児童虐待相談・ヤングケアラー相談	こども安心課(すこやかプラザ) ☎6852-8448・5544	
障害児通所受給者証の発行	おやこ保健課(すこやかプラザ) ☎6858-2285	
高額障害児給付費の申請など	こども政策課(第二庁舎3階) ☎6858-2360	こども政策課
子ども食堂などの子どもの居場所づくり	こども支援課(すこやかプラザ) ☎6852-5172	
母子健康手帳交付、妊婦相談、乳幼児健診など	おやこ保健課(すこやかプラザ) ☎6858-2293	母子保健課

## コロナを乗り越え、元気いっぱいの豊中へ

### ◎健康医療部の再編

健康に関わる危機管理機能や地域医療体制を強化するとともに、健康づくりや保健衛生事務を効果的・効率的に推進するため、保健所内組織を再編し、『保健安全課』、『コロナ健康支援課』、『医療支援課』、『健康危機対策課』を設置します。また、母子保健課を『おやこ保健課』に改称し、こども未来部に移管します。

### ◎『地域連携課』を新設

公民館・公民分館と連携しながら地域づくりを推進するため、4つの地域連携センターを統合し、『地域連携課』を新設します。

### ◎『ゼロカーボンシティ推進課』を新設

令和32年(2050)までのゼロカーボンシティの実現をめざし、脱炭素化に係る具体的な取り組みをさらに推進します。

## 暮らしを便利に快適に

### ◎『保険相談課』を新設

市民の利便性向上のため保険資格課と保険収納課を統合し、保険料に関する窓口を一元化します。

## その他

### ◎危機管理課を都市経営部に移管

全庁的な政策調整を担う都市経営部に移管。総合的に対応することで危機管理体制を強化します。

### ◎人権政策課を市民協働部に移管

人権政策を地域づくりと一体的に進めることで、より一層の人権文化のまちづくりを推進するとともに、女性支援を強化します。

## 業務の移管

業務	新しい所管課	これまでの所管課
特定健診・市民健診・がん検診など	コロナ健康支援課(保健所) ☎6858-2291	健康政策課
地域医療推進	医療支援課(保健所) ☎6152-7309	
精神保健・難病支援・難病、肝炎等の医療費助成	医療支援課(保健所) ☎6152-7427	保健予防課
感染症対策・予防接種	健康危機対策課(保健所) ☎6152-7310	
生活衛生・狂犬病予防など	保健安全課(保健所) ☎6152-7321	衛生管理課
食品衛生	健康危機対策課(保健所) ☎6152-7320	
地域自治組織・自治会	地域連携課(中央公民館) ☎6866-1102	コミュニティ政策課
大気汚染・水質汚濁等の届出	環境指導課(第一庁舎5階) ☎6858-2105	環境政策課
国民健康保険等の加入	保険相談課(第二庁舎2階) ☎6858-2301	保険資格課
国民健康保険料等の納付相談	保険相談課(第二庁舎2階) ☎6858-2306	保険収納課

子育て世帯の経済的負担を軽減

## 第2子の保育料を無償化



4月1日(土)から認可保育所・認定こども園などを利用する第2子以降の0歳から2歳児の保育料が無料になります。ただし、教育充実費などは対象外です。なお、きょうだい別世帯の場合は届け出が必要です。手続き方法は市ホームページをご覧ください。

☎ 子育て給付課 ☎ 6858-2252

子どものスポーツ機会を創出

## 小学生の体育施設個人使用料を無償化



4月1日(土)から体育施設の個人使用料が小学生以下は無料に、18歳以下は大人料金の半額になります。また、18歳以下の団体やグループが施設を貸し切る専用使用料が大人料金の3分の1になります。

☎ スポーツ振興課 ☎ 6858-3092

## 施設の使用料を一部改定



市施設の使用料は、施設を利用する人と利用しない人との公平性を図るため、4年に一度、見直しを行っています。令和4年度に施設の使用料を検討した結果、次の施設を貸し切る専用使用料を7月1日(土)から改定します。

☎ 財政課 ☎ 6858-2122

**対象施設**＝▶人権平和センター蛍池※／同センター ☎ 6841-5326 ▶公民館(中央・千里・蛍池)、コミュニティプラザ(中豊島・大池)／中央公民館 ☎ 6866-0555 ▶体育館(豊島・柴原・庄内・豊泉家千里)※、武道館ひびき※、高川スポーツルーム多目的室、二ノ切温水プール会議室、野球場(大門公園・千里北町公園・マリンフード豊中少年)、マリンフード豊中テニスコート会議室／スポーツ振興課 ☎ 6858-3092 ※は一部貸室除く

## 犯罪被害者等見舞金制度を創設



4月1日(土)以降に発生した犯罪により亡くなった被害者の遺族に対し、1人当たり30万円、重傷病を負った被害者に対し、1人当たり10万円を支給します。対象となる犯罪行為は、刑法などに規定する人の生命または身体を害する罪に当たる行為かつ警察に被害が認知された行為です。

☎ 危機管理課 ☎ 6858-2071

千里中央公園のにぎわい創出拠点施設

「1000RE SCENES」がオープン



カフェやミニショップのほか、市民、学生、ボランティア、企業などが新しい活動やつながりを生み出すことができるコミュニティスペースなどがあります。同施設を拠点に同公園の活性化を進めます。

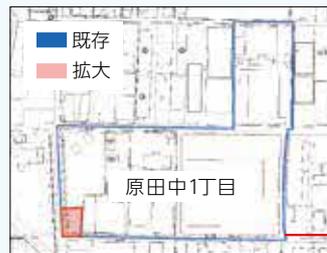
☎ 公園みどり推進課 ☎ 6843-4121



産業振興を図る  
重点エリアを拡大

騒音や振動などに関する住民と事業所間のトラブルを未然に防止し、両者が共存・共生できるまちづくりをめざすため、企業立地促進条例の期限を延長するとともに、新たな地域を重点エリアに追加します。

☎ 産業振興課 ☎ 6858-2199



ジェンダー平等教育啓発教材

「With you」の運用開始



市立小・中学校、義務教育学校で使用しているタブレット端末から学習できるようになりました。女性運転士などへのインタビュー動画などにより、性別にとらわれることなく、個性を生かしながら将来像を描き、その実現に向けて自ら行動できる力を養います。

☎ 人権政策課 ☎ 6858-2654

# 各種計画を策定・改定

各担当課や市政情報コーナー、市ホームページでご覧になれます。

## 第4次豊中市総合計画後期基本計画を策定

本市では、まちの将来像「みらい創造都市とよなか～<sup>あした</sup>明日がもっと楽しみなまち～」の実現に向けたまちづくりを進めています。

昨今の社会情勢の変化を踏まえ、後期基本計画では、令和9年度(2027)末までに取り組む16の施策とこれらの事業のうち、特に重点的かつ総合的に取り組む事業を、「南部地域活性化プロジェクト」として位置付けました。

また、人口の将来展望を示した「人口ビジョン」と、少子高齢化・将来的な人口減少に歯止めをかけるための取り組みを示した「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、冊子として一体化しました。

☎ 経営戦略課 ☎ 6858-2773



## とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0を策定

デジタル・ガバメントをさらに推進するため、『【まち】【サービス】【行政】のデジタル活用』を柱に、より暮らしやすさを実感できるように取り組みを進めます。

**【まちのデジタル活用】** マイ・タイムライン作成支援ツールの構築、災害対応ドローンの導入、マチカネポイントアプリの利便性向上、多言語通訳システムの導入ほか

**【サービスのデジタル活用】** いつでも、どこからでも必要な情報にアクセスできるマイポータルサイトの構築、窓口・オンライン手続きの質向上ほか

**【行政のデジタル活用】** データ利活用環境の構築、デジタル推進基盤の構築ほか

☎ デジタル戦略課 ☎ 6858-2669



## 豊中市立図書館みらいプランを策定

(仮称)中央図書館の候補地ごとの新たな施設配置や今後のサービス展開などを示しています。

同館の計画地選定や新たな市民サービスの実施など、豊中市立図書館の未来を見据えた取り組みを進めます。

☎ 岡町図書館 ☎ 6843-4553



## 第2期スポーツ推進計画を策定

野球やラグビー、サッカーなどの競技種目だけではなく、健康のための軽い運動、徒歩や自転車による通勤や買い物といった日常生活における活動など、意識的・継続的に行うさまざまな身体活動のことをスポーツとして幅広く捉え、スポーツの実行支援、子どもをターゲットとした施策を展開します。

☎ スポーツ振興課 ☎ 6858-3309



## 第3次豊中市環境基本計画を改定

「持続可能な脱炭素社会づくり」や「都市における自然との共生をめざした社会づくり」など各環境分野における指標や施策事業の見直しを行いました。引き続き、環境目標の達成に向けて取り組みを推進します。

☎ ゼロカーボンシティ推進課 ☎ 6858-2113



## 「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」と 「第4次豊中市ごみ減量計画」を改定

食品ロスやプラスチックに関する新しい法律の施行、新型コロナウイルスの影響による家庭ごみの増加、事業ごみの減少など、廃棄物を取り巻く状況は大きく変化しています。この状況を踏まえ、両計画を改定し、使用済みの製品を原料として同様の製品に新しく作り変える水平リサイクルの検討などの取り組みを進め、さらなるごみの減量と適正処理を推進します。

☎ 減量計画課 ☎ 6858-2279



## 市立豊中病院運営計画を策定

医療を取り巻く環境が変化する中においても、公立病院、また、急性期医療を担う地域の中核病院としての役割を果たすため、診療機能の向上による経常収支の改善に取り組み、持続可能な病院運営をめざします。

☎ 経営企画課 ☎ 6843-0101

